

乳児期からのステロイド使用後に再発し治療を再開した小児アトピーの経過 (9 歳女兒)

症例 ID：001-09-K | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

3 か月健診時に膝と肘の内側の乾燥を指摘され、離乳食開始後にかゆみと湿疹が強くなりました。掻き壊して出血することもあり、アレルギー検査後に粉薬と外用薬による治療が始まりました。

複数の医療機関で治療を続けても症状が残り、8 歳頃に松本医院を受診しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼児期から粉薬とステロイド外用薬を使用していました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	乳幼児期から 8 歳頃まで断続的に使用していました。
中止時期	松本医院受診後、ステロイドを使わない治療へ移行しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用しない治療を行いました。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
3 か月頃	来院前	膝と肘の内側に乾燥があり、アトピーの可能性を指摘されました。
離乳食開始後	来院前	かゆみと湿疹が強くなり、掻き壊して出血することがありました。
8 歳頃	治療開始	松本医院を受診し、内服治療を開始しました。
10 歳頃	経過後	外観上ほとんど症状が出なくなり、自己判断で通院が途絶えました。
その後の春～夏	再発・再受診	春頃から症状が再び出始め、プール開始後に悪化したため治療を再開しました。

4. ピーク時期

ピークは、離乳食開始後にかゆみと湿疹が強くなり、掻き壊して出血していた時期です。

5. 困りごと

- 長期間にわたり症状と外用治療を繰り返しました。
- 外観上落ち着いた時点で通院を中断し、その後に再発しました。

6. 経過のまとめ

8 歳頃から治療を始め、10 歳頃には外観上ほとんど症状が出ない状態になりました。

その後は自己判断で通院を中断したところ春から再発し、プール開始後に悪化したため、再び治療を続けることになりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。